



株式会社 松屋フーズ

〒180-0006 東京都武蔵野市中町一丁目14番5号
TEL：0422(38)1121(代)
http://www.matsuyafoods.co.jp/



郵便はがき

1 8 0 8 7 9 0

料金受取人払郵便

武蔵野支店承認

1022

差出有効期間
平成21年12月
31日まで有効

切手不要

(受取人)

東京都武蔵野市中町1-14-5

株式会社松屋フーズ 総務人事部 行



個人情報保護のため氏名はご記入いただかなくて結構です。

住 所 (都道府県名)

(都・道・府・県)

性 別 男 ・ 女

年 齢 20代未満、20代、30代、40代、50代、60代、70代以上

職 業 会社員、会社役員・自営業、官公庁・団体職員、
専門職、主婦、無職、その他

株式投資歴 3年未満、3年以上10年未満、10年以上20年未満、
20年以上

該当する項目に○をお付けください。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会：毎年3月31日
期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
公告方法 当社の公告は電子公告により行います。
ホームページアドレス http://www.matsuyafoods.co.jp/
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告を
することができない場合は、東京都において発行する日本
経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 及び 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
特別口座の口座管理機関 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-176-417
(インターネット http://www.sumitomotrust.co.jp/
ホームページURL) STA/retail/service/daiko/index.html

単元株式数 100株

【特別口座について】

株券電子化前に「はふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されてい
なかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口
座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会
及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。
<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9887

いいかぶ 検索 Yahoo!、MSN、exciteのサイト内に検索窓に、
いいかぶと4文字入れて検索してください。

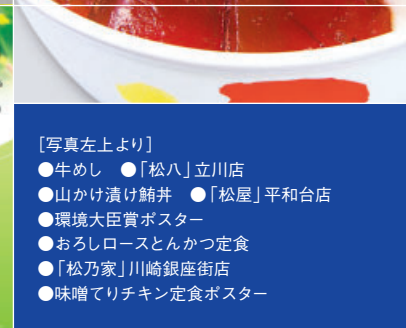
空メールによりURL自動返信
kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に
到着してから約2ヶ月間です。



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」
サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細
http://www.e2media.co.jp) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用さ
せていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



[写真左上より]

- 牛めし ●「松八」立川店
- 山かけ漬け鰯丼 ●「松屋」平和台店
- 環境大臣賞ポスター
- おろしロースとんかつ定食
- 「松乃家」川崎銀座街店
- 味噌でチキン定食ポスター



「第34期期末報告書」送付及び 「第34期期末配当金のお支払」について

拝啓 株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当社第34期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の事業の概況を、ここに第34期期末報告書としてお届けいたしますので、よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

次に、「第34期期末配当金のお支払」に関する書類も同封させていただきました。下記のとおりお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

敬具

「第34期期末配当金のお支払」について

第34期期末配当金（1株につき12円）は、同封の「第34期期末配当金領収証」により、お近くのゆうちょ銀行 全国本支店及び出張所並びに郵便局（銀行代理業者）でお受け取りください。

また、口座振込をご指定の方は、「第34期期末配当金計算書」及び「配当金のお振込先について」を同封いたしましたので、ご確認をお願いいたします。

HIGHLIGHTS | [連結決算ベース]

売上高

62,403 百万円

主力業態の牛めし業態において既存店売上高が前年比100.4%となったことや、前年度以降の新規出店による売上増加分が寄与したこと等から、前年同期比701百万円の増収となった。

経常利益

2,373 百万円

FLコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高に対する比率が、前年同期比66.3%から66.8%へと上昇した結果、前年同期比△304百万円となった。

当期
純利益

740 百万円

特別損失として減損損失560百万円を計上したこと等により、前年同期比△251百万円となった。

100年に一度のチャンス到来と捉え、付加価値の 高い商品をご提供できるよう取り組んでまいります。



代表取締役会長
瓦 葺 利 夫

代表取締役社長
緑 川 源 治

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当社2009年3月期（以下、第34期）の概況をご報告申し上げます。

第34期株主総会以降の体制について

第34期株主総会が6月24日（水）に開催され、総会終了後開催の取締役会において社長交代が決議され、それぞれ就任いたしました。

代表取締役会長 瓦 葺 利夫、代表取締役社長 緑 川 源治

外食産業においてはたいへん厳しい状況が続いておりますが、今後は2人で力をあわせ企業価値向上に努めてまいりたいと思っております。「店はお客様のためにあり、店は会社の姿である」という経営理念の下、これからもお客様に喜ばれる店舗づくりを目指してまいります。



第34期の概況はいかがでしたか



サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱が実体経済へ波及し、特に年度後半は世界規模での不況が急速に拡大しました。そして、企業収益・雇用環境の悪化等により個人消費も冷え込み、国内景気は減速から後退局面の色合いがより鮮明となりました。

外食業界におきましては、市場規模が縮小する中、業界内部における競争のみならず、中食業界のマーケット拡大等の業界を越えた競争激化に加え、食の安全・安心に対する消費者意識の一層の高まりから、各企業の取り組み姿勢が厳しく問われる状況へと変化しております。また、年度前半と後半の概況が大きく変化した1年でもありました。

Q 第34期の取り組みについて教えてください

A 当社におきましては、新規出店とあわせこれまで続けてきた既存店強化に注力してまいりました。商品政策面については、「美味追求」と題し、いつでもどこ食べても美味しい商品をお客様に提供していきたいとの思いから、看板商品である「牛めし」を筆頭に、定番商品のリニューアルを実施してまいりました。また、お客様に楽しくメニューを選んでいただけるよう、様々な新メニューを開発してまいりました。さらに、昨年秋に実施した「秋の大感謝祭」牛めし値引きキャンペーンの際には、テレビCM等を媒体として活用し、多くのお客様に当社のメニューを知っていただくことができました。

新規出店を除く設備投資として、85店舗の改装（全面改装6店舗、一部改装79店舗）を実施した他、食品加工工場兼総合物流センターの用地取得等に投資を行ってまいりました。



牛焼肉定食

Q 第34期の業績について教えてください

A これらの取り組みの結果、当連結会計年度の業績は次のとおりとなりました。売上高につきましては、主力業態の牛めし業態において既存店売上高が前年比100.4%となったことや、前年度以降の新規出店による売上増加分が寄与したこと等から、前年同期比1.1%増の624億3百万円となりました。

売上原価につきましては、当社の主要食材である牛肉の仕入価格上昇等により、原価率は前年同期の32.8%から33.0%へ上昇いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の62.7%から63.2%へ上昇いたしました。この内訳として、人件費の売上高に対する比率は前年同期の33.5%から33.8%へ、人件費以外の経費の売上高に対する比率は前年同期の29.2%から29.4%へとそれぞれ上昇いたしました。この要因として、人件費におきましては、店舗におけるアルバイト・パートの平均時給上昇等によるものであり、人件費以外の経費におきましては、経費削減の取り組み等を実施したものの、燃料価格上昇によるエネルギー費の増加や前年度後半より環境への取り組みとして実施した『弁当容器の石油製品から紙製品への切替』に係る経費



「松屋」亀有南口店

の増加等によるものです。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高に対する比率につきましては、前年同期の66.3%から66.8%へと上昇いたしました。



「松屋」三鷹店内

以上の結果、営業利益は前年同期比13.4%減の23億88百万円、経常利益は同11.4%減の23億73百万円、当期純利益は同25.3%減の7億40百万円となりました。

Q 第35期の展望についてお聞かせください

A 100年に一度の不況と呼ばれ、いまだ企業業績について明るい兆しが見えない状況が続いており、消費者の方々は少しでも出費を減らすため様々な工夫を凝らし、節約していらっしゃるのではないかと思います。そのような状況の中で当社は、100年に一度のチャンス到来と捉え、付加価値の高いメニューをリーズナブルな価格でお客様にご提供できるよう、松屋フーズグループ全社一丸となって取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、より一層のご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

■容器包装3R推進環境大臣賞「小売店部門奨励賞」受賞

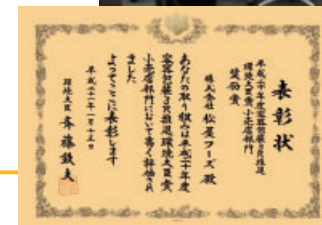
平成20年度容器包装3R推進環境大臣賞「小売店部門奨励賞」受賞のお知らせ

当社は、「使い捨て割り箸」から洗って繰り返し使用できる「環境に優しいお箸」を導入したことにより、平成20年度容器包装3R推進環境大臣賞「小売店部門奨励賞」を受賞いたしました。この取り組みは、森林保護とゴミの排出量削減を目的としたもので、ゴミの削減予定量は年間約530tを見込んでおります。

今回「小売店部門奨励賞」を受賞することができましたのも、ひとえにお客様をはじめ皆様方のご支援ご配慮の賜物と深く感謝しております。この受賞を機にこれからも、環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。



授与式の様子



松乃家

和定食の店「松乃家」は、2008年8月に赤坂店（東京都）、同11月に川崎銀座街店（神奈川県）を開店いたしました。和定食の店「松乃家」は、とんかつ定食などの揚げ物メニューの他、人気の魚などの各種定食も取り揃え、美味しい商品と共にお酒が楽しめる和食のお店をコンセプトとしています。和食は近年世界中で注目されており、年齢・性別問わず幅広い方々にご利用いただけます。

お近くにお越しの際は、是非一度、和定食の店「松乃家」にお立ち寄りください。



「松乃家」赤坂店



トロ鯖塩焼き定食

■とんかつ業態

松八、チキン亭

現在、「松八」6店舗、「チキン亭」3店舗、合計9店舗で運営しております。これまでのとんかつのイメージを変え、大衆日常食にできないかと試行錯誤を重ね、リーズナブルなお値段で気軽に食べられる業態づくりに取り組んでいます。人気メニューは、ロースとんかつ定食や、ボリュームたっぷりのWチキンカツ定食などです。サラリーマンはもちろん、女性やご家族連れのお客様にもご利用いただけます。従業員一同お待ちしております。



「松八」立川店



おろしロースとんかつ定食

■鮓業態

すし松、福松、すし丸、焼津丸

現在、回転寿司12店舗、立ち鮓2店舗、合計14店舗で運営しております。毎日、築地市場からの直送により、新鮮なネタをお値打ち価格でご提供させていただいております。また、様々な商品をご提供できるよう、加工センターも稼働いたしました。幅広い年齢層の方々からご満足いただける商品ラインナップで、皆様のご来店をお待ちしております。



「すし松」用賀店



「福松」三鷹店

松屋とセガ「龍が如く3」でコラボレート

当社と株式会社セガは、2009年2月26日に発売したPLAYSTATION®3専用ソフト「龍が如く3」でのコラボレーション企画を実施いたしました。「龍が如く3」はシリーズ累計出荷本数320万本を突破した「龍が如く」シリーズの最新作です。2006年12月に発売した「龍が如く2」同様ゲーム内に「松屋」の店舗が登場し、主人公・桐生一馬が「松屋」のメニューを堪能し、体力を回復させることができます。

今回のコラボレート企画では、全国の「松屋」のカウンター等に設置してあるQRコードより携帯電話でアクセスしていただくと、ここでしか入手できないオリジナル携帯待受をプレゼントいたしました。また、「松屋」新宿地区、秋葉原地区13店舗に

て、ご購入頂いた食券の裏に印刷されたQRコードに携帯電話でアクセスの上ご応募いただくと、抽選で100名様に「松屋」の並盛りドンブリに「龍が如く3」のロゴを入れた「龍が如く3」オリジナルコラボドンブリをプレゼントする企画を実施し、両企画ともたいへん多くのお客様にご応募いただきました。



携帯サイト



松屋ケータイサイト会員募集中!

松屋のメニュー情報や店舗検索などを携帯電話で見ることができます!

ちょっと気になるメニューのカロリーやGPS機能を使って今いる場所から近くの松屋を探すことができます! さらに「常連になる」という項目から会

員登録を行っていただくと、新商品の発売などをメールでお知らせいたします。

松屋ケータイサイトは
こちらのQRコードから!



松屋の人気メニューが冷凍個食パックになって登場！
ご家庭でもいつもの味をお召し上がりいただけます。
調理方法は簡単！電子レンジで温めるだけ！
松屋の冷凍個食パックを是非一度お試しください。

お電話でのご注文（セット販売のみ）

受付時間：平日・土・日・祝日 10:00～18:00（お盆休み、年末年始等は除く）

フリーダイヤル 0120-127-230

※携帯電話からもご利用いただけます。

上記の番号で
繋がない場合 0422-38-1206

松屋オンラインショップでのご購入（セット販売のみ）

インターネットで松屋の冷凍個食パックを販売しております。
詳しくはHPで！

<http://www.matsuyafoods.co.jp>

松屋 フーズ

検索

クリック！



下記の通販サイトからもご購入いただけます。

ヤフーストア <http://store.shopping.yahoo.co.jp/matsuyafoods/index.html>

楽天市場 <http://www.rakuten.co.jp/matsuya/index.html>

2008年10月から2009年3月までに登場した

松屋 の新メニュー&キャンペーン



牛味噌煮込み豆腐定食

2008年
11月27日(木) 発売

牛肉と豆腐をこだわり味噌でじっくりと煮込んだ、とても温まる一品です。



シチューハンバーグ定食

2009年
1月15日(木) 発売

ジューシーなハンバーグにアツアツのシチューソースをかけた、冬にぴったりのあったかメニュー。



秋の大感謝祭

2008年10月1日(水)
～10月8日(水)

日頃のご愛顧に感謝を込めて、牛めし(並)を80円引きの300円、牛めしのセット類も80円引きでご提供。



スン豆腐チゲセット

2008年
12月11日(木) 発売

豚肉をたっぷり入れて、新鮮な魚介のダシをふんだんに使用。ピリ辛のチゲスープで体の芯まで温まります。



味噌てりチキン定食

2009年
2月12日(木) 発売

味噌漬けにした鶏肉を焼き上げ、仕上げにテリヤキソースを絡めました。味噌の風味とテリヤキのコクが鶏肉の美味しさを引き立てます。



麻婆定食

2008年
10月16日(木) 発売

ピリリと辛い麻婆に豆腐とさらに茄子を加えた、なんとも欲張りな一品です。



新年丑年フェア

2009年1月1日(木)
～1月15日(木)

日頃のご愛顧に感謝を込めて、長年ご好評の「牛焼肉定食」をご注文いただいたお客様にライス大盛無料サービス！



豚テキ定食

2009年
3月12日(木) 発売

以前の人気メニューが、さらに美味しさに磨きをかけて再登場！厚切りにカットした豚テキに、ニンニク風味の利いたタレが食欲をそそります。

当期の出店は35店舗、改装は85店舗 今後も店舗網を拡大してまいります。

第34期は、「松屋」平和台店（東京都）、「松屋」南森町駅前店（大阪府）、とんかつ業態の「松八」立川店（東京都）、鮎業態の「すし松」用賀店（東京都）をはじめ、合計35店舗を出店（撤退11店舗）いたしました。

業態別では、すべて直営で、牛めし定食店27店舗、とんかつ業態2店舗、鮎業態2店舗、その他4店舗の合計35店舗を出店した結果、期末総店舗数は、748店舗（うちFC8店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし定食店720店舗、鮎業態14店舗、とんかつ業態9店舗、その他の業態5店舗となっております。

また、既存店の売上増加策の一環として85店舗の改装（全面改装6店舗、一部改装79店舗）を実施いたしました。



「松屋」南森町駅前店（大阪府）



「松屋」向ヶ丘遊園店（神奈川県）



「松屋」東陽町店（東京都）



「松屋」平和台店（東京都）



「松屋」千葉店（千葉県）

中国・九州圏

23店舗

うちビルイン店舗12店舗
ロードサイド店舗11店舗

関西圏

95店舗

うちビルイン店舗68店舗
ロードサイド店舗27店舗

北関東・甲信越圏

39店舗

うちビルイン店舗8店舗
ロードサイド店舗31店舗

東海・北陸圏

66店舗

うちビルイン店舗14店舗
ロードサイド店舗52店舗

北海道・東北圏

25店舗

うちビルイン店舗13店舗
ロードサイド店舗12店舗

首都圏

500店舗

うちビルイン店舗420店舗
ロードサイド店舗80店舗

全国 748 店

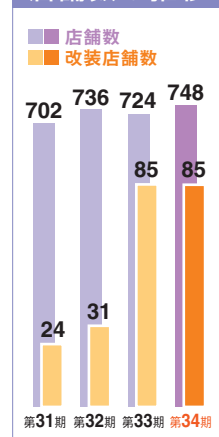
うちビルイン店舗535店舗
ロードサイド店舗213店舗

※海外5店舗を除く（単体ベース）



「松屋」大船駅前店（神奈川県）

店舗数の推移



連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期 2009年3月31日現在	前 期 2008年3月31日現在
資 産 の 部		
流 動 資 産	10,607	10,962
現金及び預金	6,915	8,445
受取手形及び売掛金	186	128
有 価 証 券	—	21
商品及び製品	187	198
原材料及び貯蔵品	2,064	958
繰延税金資産	456	462
そ の 他	796	747
貸倒引当金	△ 0	△ 0
固 定 資 産	37,286	37,207
有形固定資産	22,382	22,166
建物及び構築物	11,129	11,617
機械装置及び運搬具	1,086	1,245
工具器具備品	1,338	1,573
土 地	8,786	7,728
建設仮勘定	42	1
無形固定資産	239	434
ソフトウェア	170	175
の れ ん	47	233
そ の 他	21	25
投資その他の資産	14,664	14,606
投資有価証券	29	17
敷金及び保証金	12,519	12,586
長期前払費用	516	547
店舗賃借仮勘定	79	40
繰延税金資産	585	507
投資不動産	690	678
そ の 他	268	253
貸倒引当金	△ 24	△ 25
資 産 合 計	47,894	48,169

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

（単位：百万円）

科 目	当 期 2009年3月31日現在	前 期 2008年3月31日現在
負 債 の 部		
流 動 負 債	9,010	9,871
買 掛 金	1,333	1,728
短 期 借 入 金	114	98
一年内返済予定長期借入金	3,709	3,599
未 払 金	1,724	1,737
未払法人税等	856	979
賞与引当金	785	772
役員賞与引当金	23	29
そ の 他	461	926
固 定 負 債	9,830	9,530
長 期 借 入 金	9,087	8,789
役員退職慰労引当金	582	582
そ の 他	160	158
負 債 合 計	18,840	19,402
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	29,066	28,784
資 本 金	6,655	6,655
資 本 剰 余 金	6,963	6,963
利 益 剰 余 金	15,458	15,176
自 己 株 式	△ 11	△ 10
評価・換算差額等	△ 13	△ 16
その他有価証券評価差額金	—	△ 0
為替換算調整勘定	△ 13	△ 16
純 資 産 合 計	29,053	28,767
負債・純資産合計	47,894	48,169

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期 2008年4月1日から2009年3月31日まで	前 期 2007年4月1日から2008年3月31日まで
売 上 高	62,403	61,701
売 上 原 価	20,579	20,213
売 上 総 利 益	41,824	41,488
販売費及び一般管理費	39,436	38,731
営 業 利 益	2,388	2,756
営 業 外 収 益	438	380
営 業 外 費 用	452	459
経 常 利 益	2,373	2,677
特 別 利 益	40	121
特 別 損 失	658	756
税金等調整前当期純利益	1,756	2,043
法人税、住民税及び事業税	1,088	1,087
法人税等調整額	△ 72	△ 36
当 期 純 利 益	740	991

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

連結株主資本等変動計算書（要旨）

当連結会計年度（2008年4月1日から2009年3月31日まで）

（単位：百万円）

科 目	株 主 資 本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
2008年3月31日残高	6,655	6,963	15,176	△ 10	28,784	△ 0	△ 16	△ 16	28,767
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 457		△ 457				△ 457
当期純利益			740		740				740
自己株式の取得				△ 0	△ 0				△ 0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						0	2	3	3
連結会計年度中の変動額合計	—	—	282	△ 0	282	0	2	3	285
2009年3月31日残高	6,655	6,963	15,458	△ 11	29,066	—	△ 13	△ 13	29,053

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

単体貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

資 産 の 部		
科 目	当 期 2009年3月31日現在	前 期 2008年3月31日現在
流 動 資 産	9,994	10,462
固 定 資 産	37,627	37,505
資 産 合 計	47,622	47,967
負 債 の 部		
流 動 負 債	8,764	9,701
固 定 負 債	9,803	9,496
負 債 合 計	18,568	19,197
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	29,053	28,770
資 本 金	6,655	6,655
資 本 剰 余 金	6,963	6,963
利 益 剰 余 金	15,446	15,162
自 己 株 式	△ 11	△ 10
評価・換算差額等	—	△ 0
その他有価証券 評 価 差 額 金	—	△ 0
純 資 産 合 計	29,053	28,770
負債・純資産合計	47,622	47,967

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

株主資本等変動計算書（要旨）

当事業年度（2008年4月1日から2009年3月31日まで）

科 目	株 主 資 本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
2008年3月31日残高	6,655	6,963	15,162	△ 10	28,770	△ 0	△ 0	0	28,770
事業年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 457		△ 457				△ 457
当期純利益			741		741				741
自己株式の取得				△ 0	△ 0				0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）						0	0	0	0
事業年度中の変動額合計	—	—	283	△ 0	283	0	0	0	283
2009年3月31日残高	6,655	6,963	15,446	△ 11	29,053	—	—	—	29,053

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。

単体損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期 2008年4月1日から 2009年3月31日まで	前 期 2007年4月1日から 2008年3月31日まで
売 上 高	61,488	60,727
売 上 原 価	20,307	19,969
売 上 総 利 益	41,181	40,757
販売費及び一般管理費	38,994	38,240
営 業 利 益	2,186	2,516
営 業 外 収 益	518	537
営 業 外 費 用	450	464
経 常 利 益	2,254	2,589
特 別 利 益	99	119
特 別 損 失	668	783
税引前当期純利益	1,685	1,925
法人税・住民税及び事業税	992	1,003
法人税等調整額	△ 48	△ 19
当 期 純 利 益	741	942

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てています。



	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期(予)
■ 売 上 高 (百万円)	連結 57,877	60,742	61,701	62,403	66,050
	単体 57,693	59,744	60,727	61,488	65,250
■ 経 常 利 益 (百万円)	連結 3,674	1,719	2,677	2,373	2,240
	単体 3,699	1,914	2,589	2,254	2,300
■ 当期純利益 (百万円)	連結 1,315	△ 1,042	991	740	700
	単体 1,363	△ 1,005	942	741	750
■ 総 資 産 (百万円)	連結 51,494	49,317	48,169	47,894	49,967
	単体 51,372	49,074	47,967	47,622	49,665
■ 純 資 産 (百万円)	連結 29,812	28,257	28,767	29,053	29,359
	単体 29,810	28,305	28,770	29,053	29,345
■ 1株当たり当期純利益 (円)	連結 67.49	△ 54.67	52.03	38.84	36.72
	単体 70.38	△ 52.73	49.43	38.89	39.34

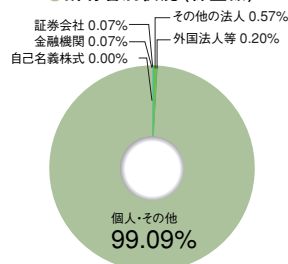
株式の状況 (2009年3月31日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式総数	19,063,968株
株主数	35,724名

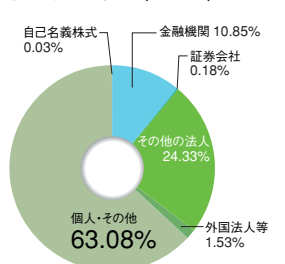
大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (株)	出資比率 (%)
瓦葺利夫	4,443,800	23.31
有限会社ティケイケイ	2,687,241	14.10
有限会社トウイール	1,830,000	9.60
瓦葺一利	828,500	4.35
瓦葺香	744,372	3.91
(株)商工組合中央金庫	518,400	2.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4G)	385,100	2.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	311,000	1.63
松屋社員持株会	280,189	1.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	183,800	0.96

所有者別状況 (株主数)



所有者別状況 (株式数)



グループ会社紹介

当社(株)松屋フーズ
和風ファーストフード店「松屋」等の経営。日本国内でチェーン展開

(株)エム・ティ・ティ
店舗の総合メンテナンス、厨房機器等販売、店舗の建設施工監理、給排水工事

(株)エム・エル・エス
クリーニング事業及びリサイクル事業、廃棄物回収事業

(株)松屋ファーム
農業及び農業の代行・受託

青島松屋快餐有限公司
中華人民共和国内における地場企業の技術指導、各種業務受託

Matsuya Foods USA, Inc.
米国における持ち株会社。グループの企画・マネジメント業務等

Matsuya International, Inc.
米国における食材の仕入・加工・販売

Matsuya New York, Inc.
米国における飲食店舗の運営

※1. 当社は、(株)エム・ビー・アイ及び(株)エム・エム・シー・エーを2008年4月1日付で吸収合併いたしました。
※2. (株)松屋ファームと青島松屋快餐有限公司は、非連結子会社で持分法適用会社。

会社概要 (2009年3月31日現在)

設立 1980年1月16日
資本金 66億5,593万2,100円
従業員数 1,235名
売上高 624億円 (第34期実績)
本社 東京都武蔵野市中町一丁目14番5号
工場 嵐山：埼玉県比企郡嵐山町花見台4番地3号
富士山：静岡県富士宮市大字北山字峯4242番地4号
店舗 748店舗 (直営740店舗、FC8店舗)
※海外5店舗を除く
事業内容 ・牛めし定食事業
・とんかつ事業、館事業 ほか
・フランチャイズ加盟店への食材等の販売および経営指導

役員一覧 (2009年6月24日現在)

代表取締役会長 瓦葺利夫
代表取締役社長 緑川源
専務取締役 小松崎克
取締役 桜井茂
取締役 佐藤雅
取締役 斎藤道
取締役 薄井芳
取締役 鈴木治
常勤監査役 浅井彰
監査役 藤野ノ木
監査役 山本宏



「株主様お食事ご優待券」のご利用方法について

店舗でのご利用を希望の場合

ご優待券1枚で1食、「店舗一覧」に記載店舗にて、当社指定メニュー(700円以下)を、お召し上がりいただけます。

【当社指定メニュー(下記条件にて1品選択可)】

- 定食メニュー**: 定食メニュー(700円以下)＋ライス大盛可
- セットメニュー**: セットメニュー(700円以下)
- 定食・セット以外のメニュー**: 定食・セット以外のメインメニュー(700円以下)＋サイドメニュー(120円以下)

※本券の換金、差額に對しての現金返却はいたしかねます。また、現金追加による700円を超えるメインメニューを選択することはできません。

当社製品詰め合わせへのお引換えをご希望の場合

- 詰め合わせの内容は、「国産牛めしの具×4パック・豚めしの具×3パック・オリジナルカレーの具×3パックの計10パック・1セット」を予定しております。
- お引換えご希望の株主様は、「株主様お食事ご優待券」10枚同封のまま、「株主様お食事ご優待券在中」封筒表面の〈当社製品詰め合わせ発送先〉欄へ必要事項をご記入の上、本封筒ごと返送をお願いいたします。切手は不要です。

※「株主様お食事ご優待券」9枚以下での製品詰め合わせとのお引換えはできません。

なお、当社製品詰め合わせお引換え期限は、平成21年9月30日までとさせていただきます。(9月30日消印有効)



株主優待制度について

当社の株主優待送付は、2007年3月期より、毎年3月31日現在の株主名簿に記載された所有株数100株以上の株主様に対し、ご優待券一律10枚贈呈となっております。

株主様お食事ご優待券使用につきましての詳細は、ご優待券が同封されている封筒裏面に記載の「株主様お食事ご優待券」ご利用方法をご確認ください。また、弊社ホームページ「投資家の皆様へ」でもご確認いただけます。

<http://www.matsuyafoods.co.jp/ir/yutai.html>



【アンケートに関するお願い】

当社では、株主、投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、アンケートを実施させていただいております。お手数ではございますが、質問にお答えいただき、ご投函ください。ご協力お願いいたします。

株主の皆様へアンケートのお願い

- 当社株式をどの位の期間保有されていますか。
a. 10年以上 b. 7年～10年 c. 5年～7年 d. 3年～5年 e. 1年～3年 f. 1年未満
- 今後の当社株式についてどのような方針をお持ちですか。
a. 売却 b. 長期保有 c. 買い増し
また、上記方針を決定するための判断材料は何ですか。(複数回答可)
a. 株価 b. 配当 c. 株主優待 d. 将来計画 e. 業績 f. その他()
- IR情報の提供手段としてどのようなものを希望されますか。
a. 株主通信 b. 投資家説明会 c. インターネットホームページ d. IR広告 e. その他()
- 松屋の携帯サイトについて教えてください。
a. 松屋の携帯サイトを使ったことがあり、会員になっている
b. 会員にはなっていないが、松屋の携帯サイトを使ったことがある
c. これから、携帯サイトを使ってみたい d. 今後も使う予定はない e. その他()
- 今回の期末報告書で、興味を持っていた内容は何ですか。
a. 社長インタビュー b. 容器包装3R推進環境大臣賞受賞
c. 松屋の新業態 d. 当期の取り組み e. 商品戦略
f. 店舗戦略 g. 財務諸表 h. その他()
- 当社の今後の経営課題について、重要だと思われるものは何ですか。(複数回答可)
a. 商品開発 b. 販売促進(キャンペーン) c. 価格政策
d. 店舗展開 e. 業態の多様化 f. M&A g. 食の安全・安心の取り組み
h. 環境問題対策 i. CSRの取り組み(企業の社会的責任) j. 海外展開
k. その他、ご意見・ご要望をお聞かせください。

ご協力有難うございました。